

# 法律を 10 倍楽しく学ぶ講座

【第 2 回 林 幸司先生による

『法学部の定期試験！？何を勉強し、何を書くべきなのか？

～「法解釈」という切実なる課題とそれが「面白くなる方法」～』】

講 師：林 幸司 教授

実施日時：2015 年 11 月 20 日（金）18：00～19：30

実施場所：和泉キャンパス第二校舎 6 番教室

参加者数：52 名

（1 年生：25 名，3 年生：3 名，学年不明：10 名，アンケート未提出：14 名）

<アンケート回答結果>

- ・定期試験に向けて、何を勉強し、そして実際の試験で何を書くべきか、ということはいまははっきりしていませんでしたが、次の試験に向けて何をすべきかが今日の講義を通して少しつかめました。
- ・テストにおいて、自分としては満足のいく成績が得られず「何故そうなったのか」について、今回の特別講義を受講して、ある程度の打開策が見えてきたと思いました。あと自分たちは法律学の研究者の一員なんだと言う自覚を持って、今後の講義に臨んでいきたいです。
- ・林先生の講義を受けており、春学期の試験でかなり書いたはずなのに、評価が悪かったので、疑問に思っていました。今回の話で、僕の解答が足りなかったと理解できました。どんなに書いても、要点を、要所を抑えることが大切だと知りました。
- ・僕は今まで「事実を認識する」ことばかりに力を入れてしまっていたので、「評価（判断）する」こともしていきたいと思いました。
- ・法律の答案の作成方法だけでなく、用語についても詳しく知ることができ、とても充実しました。「法律行為」や「一般条項」当の用語について熟考したのは初めてでした。これからの学部試験にも今日学んだことを活かしたいと思います。ありがとうございます。
- ・前期試験の評定が B だったので、その上を目指すために参加しました。主観的要件と客観的要件を分けずに曖昧な記述をしたこと、結論部分の私見が書けていなかったことが理解できた。後期はこれらを改善し、A 以上の評定を取れるようにしたい。
- ・答案を作成する側がどこを重視しているのかということについて、少し分かったように思いました。この講義を後に活かしていけるようにしていきたいと思いました。重要なところをしっかりおさえつつ、これから学習していけるようにしたいと感じました。
- ・前期の成績が思っていたより良くなかったのが今日の講演とプリントを見直して後期頑張りたいです。テスト対策も論文もタメになりました。
- ・前期試験では思うような成績を取ることができませんでしたが、体系的に説明できれば

# 法律を10倍楽しく学ぶ講座

【第2回 林 幸司先生による

『法学部の定期試験！？何を勉強し、何を書くべきなのか？

～「法解釈」という切実なる課題とそれが「面白くなる方法」～』】

良いとのことで、もとしっかり知識をつけた次の試験では良い評価を得られるようにがんばりたいです。

- ・解答作成の最後の「私見」を述べる部分が難しいと感じた。授業中に見解がいくつか提示された場合なら、そのどちらか、自分が思う方を書こうと思うけれど、まだ自分の中には、事例に対してきちんと「私見」を述べられる素養がないと思う。もちろんこれは、これから努力して身につけていきたいが、正直、今の段階では教わったことを理解して、そのまま紙に書くのが精一杯であると感じた。
- ・テストの書き方がやっと理解できたような気がします。意義の具体例はどのように書けばいいのですか？1月の私見に向けて勉強を頑張ろうと思えました。
- ・全体的に、前期の内容の復習だったので、認識し直すきっかけになりました。授業プリントに書いていない論点や流れもあったので、今後の参考にしたいと思います。ありがとうございました。あと、前期の評価がBだったので、学生の書いたA、Sの解答がどのようなものだったのか詳しく知りたいです。
- ・わからないところが出てきたら、どんどん質問していきたいと思いました。
- ・法律行為がどういうことかについての復習、試験問題の復習になりました。ありがとうございました！
- ・法律の授業を聞いて、半年経ちましたが、私は法律はよくわからないなあ、苦手なのかなあ？と思っていましたが、先生が「わからないことは知っているんだよ！」と仰っていて、安心しました。法律音勉強を頑張りたいです。
- ・90分ではなく、通常の講義として毎週コンスタントに聴きたいと思いました。
- ・非常にわかりやすかったです。
- ・答案の作り方・構造を何となくつかめた気がします。
- ・今までよく分からなかった試験の解き方が少し分かった気がする。今回の例題について、もう一度自分で検討してみたいと思う。
- ・今まで質問することは大事だと多くの人から教わってきましたが、自分の分からないところをうまく説明出来ない時はどうしたら良いでしょうか？前回の講義でも言われたように、具体例が大事であると分かったのでたくさん読んでいきたいと思った。また、私見を考えることは難しいのでどうしたら良いかと思った。
- ・後期の定期試験も頑張れそう。評価がBやCが多かったので、しっかり論点と結論を書き、質のある分を書いて高評価をもらいたいと思いました。
- ・毎週火曜にご教授いただいております。ためになる講義をありがとうございました。
- ・あまり授業で書き方を聞く機会がなかったので聞いて良かったと思いました。
- ・復習になりました。答案の作り方が参考になりました。
- ・私は法学部なのに、法律が苦手で、テストでもっとしっかりした論述が出来たらいいな

# 法律を 10 倍楽しく学ぶ講座

【第 2 回 林 幸司先生による

『法学部の定期試験！？何を勉強し、何を書くべきなのか？

～「法解釈」という切実なる課題とそれが「面白くなる方法」～』】

と思って、講習にきました。基本的に大事なことは単純にもっと勉強しないとイケないということだと思いました。後期の試験は頑張りたいです。

- ・ 1・2 年のときは、あまり、法律の勉強に力を入れていなかったのですが、3 年になってから真面目に勉強するようになり、また進路を考える上で法律の勉強が欠かせないので、参考にしようと講演を聞きに来ました。参考になりました。後期試験、そして、今後の勉強に役立てたいです。
- ・ 非常にわかりやすい講座で、特に解答への論理的展開が詳細にレジュメに載っていたり、説明も丁寧でした。聞いていて、楽しかったです。どうか、駿河台にもいらっしゃってください。
- ・ 勉強の仕方を改めて考えさせられたような気がします。自分が疑問に思っていたことは積極的に質問するようにしていきたいです。
- ・ 民法以外のお話も聞けるかなと思っていたので、残念でした。
- ・ 基本を再確認することができてよかった。
- ・ 意義・要件・効果が大切であることはよく分かったが、事例問題を説明していただく中で、どのように論じていけばいいのかがあまり具体的にない部分もありました。
- ・ 結局、何の意義・要件・効果を見れば良いのか分からなかった。
- ・ 春学期の授業中にもどのように書くべきかを先生は話してくれていたと思うが、その頃は全く具体的なイメージがなく、ただ聞いているという状態であった。ただ、少しずつ法律を学んだ今、この話を聞くことができたので、今日話を深く理解して定期試験にいかしていきたい。
- ・ 大学に入って初めて試験を終えて、憲民刑の必須科目が全て B になってしまい、とても悔しい思いをし、次は絶対に評価を上げようと、今回の講義に参加してみた。論文を書くのは簡単なことではないが、今回の講義を聴いて少しでも書き方が分かったような気がした。こういうことを教えてもらう機会はあまりないので、参加して良かった。
- ・ 今回学んだことをいかして、次は高評価を狙えるように勉強します。ありがとうございました。
- ・ 具体的な答案の書き方が知りたいです。ありがとうございました。
- ・ 構成上仕方ない側面もあるが、答案の例やそれを紹介するために必要な概念を示すのに時間を使いすぎてはいないだろうか。というのも学生が今回の講義で学びたかったであろうものとは少しずれている気がする。これでは民法総則の講義である。

以 上